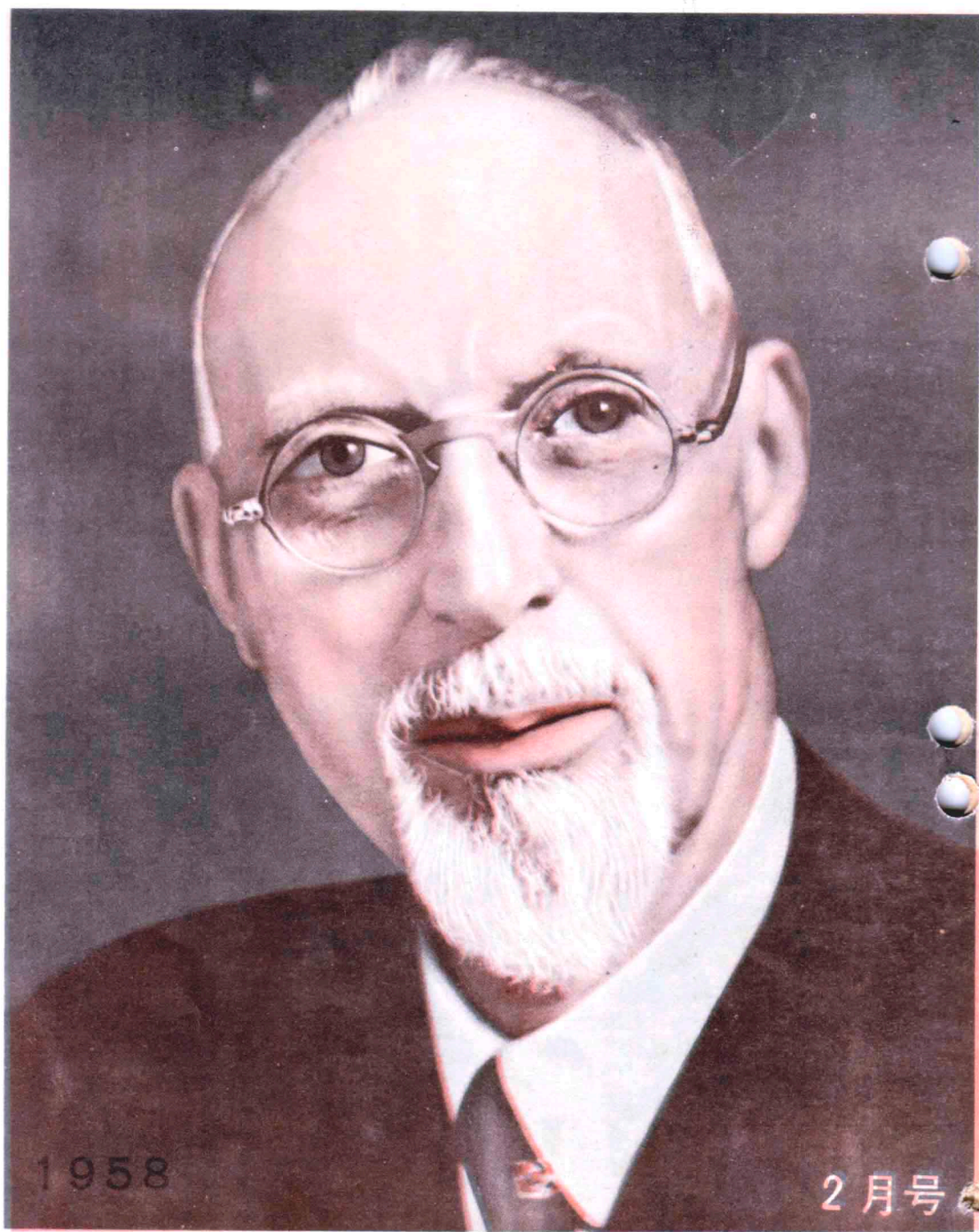


聖徒の道



1958

2月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

聖徒の道

一九五八年 二月号

「大管長のメッセージ」	新訳モルモン經に就て	佐藤龍猪	十三
永遠の真理	伝道本部より		十四
「伝道部長メッセージ」	函富支部発足す		十五
系図	アメリカの子供も同時にバプテスマ		十五
発くつされた死海の書(巻物)(一)	モルモン家族生る		十六
B・Y・U教授 シドニー・B・スペリー博士	敬虔な春の集い		十六
「質問欄」	室蘭のクリスマス		十六
身に变化を受け生きながら天に取り上げられた人は?	十二月の横浜支部		十七
「信仰と証詞」	金沢支部大会		十八
過去をして逝かしめよ	「モルモン経物語」(四)	エマ・マ・ビータソン	十九
「ニュース欄」	(表紙の説明) 第八代大管長ジョージ・アルバートスミス		二十五
挨拶(系図委員会に就て)	編集言		二十五
渡部正雄			十三



永遠の真理

デビッド・オ・マツケイ大管長

「われとわが言を恥ずる者をば、人の子もまたおのが栄光と父と望き使の栄光をもて来るときこれを恥ずべし」(ルカ伝九章廿六節)

もしもわれわれが、人間の有つてゐる霊としての実体を真実且つ永遠なものとして受け入れるならば、われわれの注意の全部と言わないまでもその大部分を肉体の必要と快楽と情欲とに捧げて、この霊としての実体が発達するのを無視したりまたはおろそかにしたり

するは、いかにもおろかなことではないか。

もしも人が、人の心を旨いえさで誘ひこむもの、富、名譽、快楽、放縦などをそなえた現世を「最高の追求の目的物」にしてその求めるものを得るのみならず全世界を得るとしても、なおこれと共に自分の霊を失うならば、その人は価値ある唯一つのものを賭けて勝負に敗れたのである。

もしもわれわれが、イエスの教えが不評判な所で、しかももし他の者たちからも好かれるためにつき合ひをして批判を免れるならば、われわれはキリストの教えを破る放縦に身を屈したのであつて、われわれはキリストを恥とし、キリストが「父と望き使の栄光をもて来」りたもうときにキリストがわれわれを恥としたもうに値することを証明するのである。

しかしながら、善惡を選ぶ能力は神の賜であつてしかも人生の目的は幸福にある。肉体の性質に關係のある事物は、容易に得られてしかもその快楽が直接であるから、多くの人はこれらの事物を求めてその時間の大部分を費し、霊に属する永遠の喜びをおろそかにしている。

われわれは今、あらゆる時代の中で最も画期的の時代であることが判るといつてもよい時代に住んでいる。今われわれは、周期的に全世界を一掃して人類の努力の方向を変えてしまふ人類の思想と感情の大津波を目撃しているという充分な証拠がいたるところにある。今こそ明せきな思想と健全な判断とを要する時である。

その時があるとするならば、今こそ物質的の欲望と瞬間的快楽に満足しない若い人々が、心に永遠の真理と根本的真理とを得て、これらを人生の道しるべとなる星にする時である。

人間が混乱、熱望、失望、絶望等をしてゐるこの動搖の海の中でももしもわれわれがちよつと立ち止つて、生活に対する直接

の要求やもくろみを心の中から除き去り、また欲求や屑欲の満足に耽ることによる個人的快樂を求める欲望をさしおき、また一二時間の間のこの人の世の物質的、政治的いや社会的の影響からさえも身を退いて、自らの靈を眞の我と永遠なる神とに親しく交わりをさせるならば、われわれは永遠の眞理を認めてこれを採り用いる時にのみ眞面目な心の熱望が満たされまた平和と幸福が実現できることを悟るはずである。

もしもわれわれがあらゆる直接の欲望と混乱とをとり去つて、敬肅な仕方で眞の我と交わるならば、われわれは今眞理のようなものに価値を与えているのを悟るはずである。

このように靈と親しく交りをするところから、どのような自然的、物質的、政治的、工業的またはその他の変化が起ころうとも、またどのように政府の見解が變ろうとも、またどのように世の中の流行や慣習や理想が迎へられたり見すてられたりしようとも不變の眞理だけは永遠に大宇宙の中でその働きをやめず、常に靈の發達と平和と人類個々の幸福に寄与してやまないことを認めるに至るのである。

この認識と共に或る根本的問題が生じてくるが、その解答は永遠の眞理に論及することによつてのみ見出すことができる。これらの肝要な問題を二三あげてみると次のようなものである。

第一、生命の常住の本体と生命の神秘。人間の靈の不死不滅。

第二、神の存在と神に対するわれわれの關係。

人間の靈は、その神性を有する存在者（神）と調和することが可能である。

第三、以上永遠の眞理を受け入れると次の疑問が起る。

人生に於ける最も高貴な目的は何か、それは快樂か富かまたは名声か。このような疑問は、思慮のあるまたは物事を熟つて

よく考へるあらゆる人の心にいつの間にか忘れ去る程度にもまた熱想にふける程度にも入つてくる。

善い性格とは、だらしない口をついて出る多くの格言を記憶に止めている単なる能力にあるのではない。善良なる性格は安定していなくてはならない、根が生えていなくてはならない。それは習いが性となつた思想と行為とを獲得することであり、また惡を為す衝動をちゆうちよなくしりぞけることを保証するほど良心にしっかりと固着した、また本當に体そのものにしっかりと固着した眞に実在するものを獲得することである。

創造されたものの中にある生命を尊ぶこと、神と神の愛したもう御子を信仰すること、神と神の御子に靈として交わることも實際に可能であるという確信、正しい生活をする喜ばしい経験、尊敬と眞理と誠実と公明正大な行動とを身を以て表わすこと、以上は幸福と靈の發展とを來す永遠の眞理の数々である。

世界の人々は決して變らない根本的眞理、すなわちイエスキリストの福音である永遠の眞理を必要としている。

「もし人全世界を得るともその身も靈も失わば何の益あらんや。また人何をもてその身も靈もに代えんや」（マタイ伝十六章廿六節）

されど汝らの中、或る人々はわが悦ぶところにあらず。そは彼ら人を怖れて、己が口を開かんとせずしてわが与へたる才能をかくすによる。禍なるかな、かかる人々よ。わが怒りは彼らに向いて燃ゆればなり。彼ら今より更にわれに忠実なるにあらざれば彼らの持つものまでも取去られん。主なるわれは上は諸天を支配し、また世の万群の中にありて統べしらす、故にかれらをもてわが宝とする日には、すべての人々神の能力に就きて言われしことの何なるかを覺るところあらん。

伝道部長メツセージ

系 図

伝道部長 ボール・シー・アンドラス

今月は、旧約聖書のマラキ書第四章の意味をよく考えようではありませんか。この第四章は短い章でありますから、次にその全文を引用します。

「萬軍のエホバいい給う。炉のごとく焼る日來らんすべてたかぶる者と惡をおこなう者はわらのごとくにならん其來んとする日彼等を焼きつくして根も枝も残らざらしめん。されど我名をおそるゝ汝らには義の日いでて昇らんその翼には医す能をそなえん汝らは牢よりいでしこうしの如くおどらん。又なんぢらは惡人を踐みつけん即ちわが設くる日にかれらは汝らの脚の掌の下にありて灰のごとくならん萬軍のエホバこれを言う。なんぢらわが僕モーセの律法をおぼえよすなわち我がホレブにてイスラエル全体のために彼に命ぜし法度と誠命をおぼゆべし。視よエホバの大いなる畏るべき日の來るまゝにわれ予言者エリヤを汝らにつかわさんかれ父の心にその子女をおもわせ子女の心にその父をおもわしめん是は我が來りてのろいをもて地を撃ことなからんためなり。

○・・・ 炉の如く焼くる日來らん

私たちは、今末日に住んでいることを知っています。そして、すでに蓄積されている莫大な数に上る原子兵器やその他の核兵器のことをよくよく考える時、炉の如く焼くる日の來ることを想像することは私たちにとつて困難ではありません。

この日が來る時には、すべて高ぶる者と惡を行う者はわらの如く

に焼けてしまふが、義しい人たちは守られて安全に引き上げられ、この地球を支配することになります。私たちは、その日に如何にして義しい人たちの中に数えられることができますか。

私たちが義しい人たちの中に数えられるために為さなくてはならぬ幾つかのことは、この第四章の二節と三節の中に言つてあります。第二節の中には私たちは主の御名を畏れなくてはならないと言つてあります。

主の御名を畏れかしこむために私たちは主の御名が何であるかを知らなくてはなりません。当教会に於ては、私たちは主の御名がエホバであることを知つて居ります。

私たちは、エホバとイエス・キリストとが、この世の創り主であり救い主である一人の偉大なお方を指す名前であることを知つて居ります。

主の御名を知る知識にめぐまれた後には、私たちは主の御名を畏れかしこむことを示すため、主の下したもうた数々の誠命を實行しなければなりません。

第四節に於て、私たちはモーセの律法をおぼえよと諭されて居ります。他の言葉で言えば、主の來りたもうあの大きいなるおそるべき日に義しいと見なされるために、私たちはモーセの誠命をよく知つてこれらの誠命を實行してはなりません。さて、出エジプト記の第廿章に目を向けてこれらの誠命を読んで下さい。あなたは日常の生活の中でこれらの誠命を現在守つていますか。もし守つてゐるならばそれはあなたにとつて良いことではあります。もし守つてゐないならば、あなたが悔い改めないとはあなたはとつて良くありません。

第五節と第六節に於てマラキは、主の大きいなるおそるべき日の來る前にこの世に住む人々を訪れるため、エライジャが遣わされると予言して居ります。また私たちは、全地がのろいを以て撃たれない

ようエライジャは子らの心にその先祖を思わせることも字ひます。
天使モロナイがジョセフ・スミスを訪れた際、モロナイはマラキ書の第五節と第六節とを次のように引用しました。すなわち

「見よ、主の大きいなるおそるべき日の来る前に、予言者エライジャの手によりて、われ神楯を汝に顕わさん」

「彼は先祖になされし約束を子らの心に植え、子らの心にその先祖を思わしめん」

「もし然らずば、主の来る時、全地はことごとく荒れ廃れん」と。(教義と聖約第二章)

千八百三十六年の四月六日に、救い主と昔の大予言者数人がオハイオ州カートランドの神殿でジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの二人を訪れになりました。

さて教義と聖約の第百十章に目を向けて、この訪れを誌した記事を読んで下さい。

この際、予言者エライジャはマラキの予言を成就するためにジョセフ・スミスを訪れました。(教義と聖約百十章十三節一十六節参照)

エライジャはこの通りすでに来しましたから、主の大きいなるおそるべき日の来るのは近いのであります。

○・・・子らの心を先祖に向ける

以上の聖句(マラキ四章五節一六節、教義と聖約第二章、同百十章十三節一十六節)はみな、子らの心をその先祖に向けることに関係があります。

私たちは、これまで地球上に住んだことのある者は一人のこらずイエス・キリストの真の福音を受け入れる公平な機会を授かるにちがいないことを知つて居ります。多くの者が其の福音を受け入れて神の王国に加わりたいと願うにちがいません。実際、あなたの先祖の多くは、また私の先祖の多くは神の王国に加わりたいと願つ

て居るので、これらの人々は福音に属するすべての祝福を受けることができるように必要な諸儀式の執り行われるのを待ち設けて居ります。私たちの心を私たちの先祖へ向けて、必要な諸儀式が主の家の中で先祖のために執り行われるように計らうのは、神のまことの教会の会員たちである私たちの責任であります。日本人たちは、ほとんど例外なくその亡くなつた先祖に非常な興味をもつて居ります。しかし、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員だけが、その亡くなつた先祖たちを實際に助ける能力をもつて居ります。更に私たちは、亡くなつた私たちの先祖のために必要な働きをしなくてはなりません。さもなければ主の大きいなるおそるべき日に私たちは義しい人々の中に数えられないにちがいません。

○・・・日本における系図委員会



日本に於ける系図の仕事は、今始まつたばかりであります。私はそれが急におそろしく大きなものになるにちがいないと確信いたします。この偉大な進歩が実現できる前に、正しい組織を造ることが必要であります。それでありますから私は聖徒の道の本月号で渡部正雄兄弟を本伝道部の系図委員会の会長に任命すると発表することを本当に喜ばしく思います。

このほかの会員は、この仕事が大きくなるにつれて時々この委員会の会員に任命されることになります。この委員会は、本伝道部に於けるすべての支部系図委員会の諸活動を指導し、また今まで欠けている伝道本部からの指図と援助とを与えることになりまふ。渡部兄弟の働きと、彼の委員会の委員諸君の働きと、また当教会の全会員諸氏の協働によつて、日本に於ける多数の人々の心がその先祖たちに向けられ、また今は亡き善良

な多数の日本人のためにする必要な働きが間もなく為し遂げられるにちがいないと信じます。

私は主が日本と韓国と沖繩に於ける系図の仕事に祝福を授け、たまに、今生きている子孫によつてまさしくこの地で死者のための働きが執り行われるよう、数年の中に神殿が本伝道部の中に建てられることを祈り奉る。

発掘された死海の書（巻物）（一）

・・・末日聖徒に對するその重要性

ブリガムヤング大学

旧約及文学教授 シドニーB・スベリー博士

一九四七年に死海の書が発見された時程聖書学者及び平信徒を湧き立たせた事は稀である。

発見の主なる経緯に就ては既に善く知れたつてゐるが茲に再び振返つて見る事も何等差支えないことである。一九四七年の春に遊牧のターミレ族のマホメットアディブ（狼の意）と言ふ名の牧童が死海の西北地帯のクムラン溪谷の附近に山羊群を放牧して居た時ヘブライ語及びアラミツク語の文書の保存されている昔の蔵の上に來た。発見の詳細は必ずしも一致してゐないが茲にヨルダンのハシエマイト王国の古美術会長シー・ランケスター・ハーディグ氏が一九四九年の八月九日のロンドンタイムスに掲載した記事を見てみよう。

「一匹の山羊がよき牧草を求めて横道にそれて行つたので牧童はそれを追つて岡の中腹のけわしい岩を登つて行つた時偶然岩面に小さな円い口の開いた上を通りかかった。無理もな

い好奇心から彼は用心しながら中をのぞき込んだ、けれども只大きな暗い洞くつを見ただけであつた。そこで彼は石を投つてその中へ投げ捨てた。すると何か物が翻れる音が聞えた。彼は思ひぬ効果が現れるのではないかと興奮しながら一度引退つて後友達を連れて來た。

二人になつた時彼等は勇氣づいて小さな開かれた孔口から洞くつ内に這込んだ。そして薄明かりの中で或大きな壺が床の上に立つてゐるのを見極める事が出来た。そしてその中の一つは今投げた石によつて破壊されてゐた。他の壺の破片もあたりに散乱してゐたが彼等は急いで完全な壺の内容を調べて見た。

然し期待してゐた金の宝の代りに彼等はその中から知らない字の書かれた数多くの皮の巻物を引き出した。残念ながら彼等はそれが如何なる金よりも遙かに大いなる宝であることを知らなかつた。」

マホメットと彼の友達達はベツレヘムに行つてその巻物を売ろうとした。二、三ヶ月の間にエルサレムの聖マルコ、シリヤ正教会修道院及びヘブライ大学のイ・エル・スケニク博士がその巻物を獲得した。エルサレムのシリヤ大主教のアサネシヤス、イエシユエ・サムエルは修道院が獲得したその巻物に書かれた文字はヘブライ語であることを認めたが、彼及び彼の同僚も皆それ以上、その巻物が如何に重要なものであるかに就ては何も知らなかつた。大主教は偶然エルサレムに居合せたニジメゲン大学の有名なオランダのジェ・ヴァンダーブローエ教授を始め他の学者達に相談した。ヴァンダーブローエ教授はその文書の一部を見てそれはイザヤ書のヘブライ語写本であると認めた。従つて彼はこの興味ある事実をユコレ・ビブリケに居る友人で

写本に就ての有名な学者に報告した処、その友人は彼にイザヤ書の如き古い時代の真正な文書が存在し得ると考えることは愚かな事だと告げた。そこでヴァンダーブローグ教授はこのことに就ての関心を失つてしまつたか遠からずして彼及び彼の友人達はその巻物の古い時代に就ての考えを改めたのであつた。

一九四八年二月二十一日シリヤ修道院のバトロス・ソウミール神父がエルサレムに於けるアメリカの東洋研究学校代理の若いジョン・シ・トレヴァー博士に五つの巻物に就て話を持ちかけた。翌日彼と彼の兄弟はその巻物をアメリカの学校に携えて来た。その時写真機が得られなかつたのでトレヴァー博士に大きな巻物から幾行かを写すことを許可した。ソウミール神父は巻物は元来死海の近くの洞くつから発見されたものであると説明した。訪問者が去ると間もなくトレヴァー博士はその巻物から彼が写したヘブライ語の文字はイザヤ書からのものであると彼が曾て見た如くなるものよりも古い時代のものであることを自覚した。

従つて翌日彼はサムエル大主教にその巻物をアメリカの学校に持つて来て写真をとらせてもらいたいと頼んだ。二月二十三日にその計画は着手された。けれども巻物の内の一つは非常に破損されて居り開くことが困難なため中止された。その巻物はヘブライ語でなくその姉妹語であるアラム語で書かれてあつたと観察された。

原稿は早急に現像されイザヤの巻物からの或印刷物が航空便でバルチモアのジョンズ・ホプキンス大学のウィリヤム・アライト博士に送られた。現代に於ける聖書考古学界の権威者であるアライト博士は急いで航空便を以て今は既によく知られた次の如き言葉を以て答えた。

「現代に於ける最大なる写本の発見に心からお祝い申し上げます。私は疑いもなくこの文書はナシユ、バビルスよりも古代

のものであると信ずる。私は約紀元前百年頃のものだと判断するがそのような古い文書の発見は殆ど信じられない。而して幸いな事にこの世界に於てその写本の真正さに就て一点の疑う余地もないのである。」

アメリカ学校の校長ミラー・バロウズが二月の末近くに二週間のイラク訪問から帰つて来ると直ちに同僚のトレヴァー博士及びブラウンリー博士とその巻物の積極的な研究に没入した。その写本の出版を準備する事が緊迫な問題となつた。バロウズ博士はサムエル大主教に、彼の判断によればそのイザヤの巻物は我々の聖典として知られている如何なる写本よりも最も古いものである。大主教はバロウズ博士の言葉に強く印象づけられ一週間の内にその巻物をバレスチナ地域外の安全な場所へ送り出してしまつたのである。

一九四九年サムエル大主教は五つの巻物（後にその内の二つは実際には一原本の巻物の部分である事が判明した）を携え、この国に來たり出版の目的でアメリカ東洋研究学校に三ヶ年間の期限付きで手交した。そして誠に三つの巻物は速かに出版された。才四番目の巻物は未だに困難に逢着しているのである。

遂に巻物を売ろうと言う試みがなされたが各機関は恐らくその合法的所有権を疑つて之に応じようとしなかつた。一九五五年の二月十三日にそれ等は二十五万弗を以てイスラエルの国のために購入されたと発表された。この様にしてすべての巻物は、前述の通り他の巻物をヘブライ大学の為に買つていたイ・エル・スケニク博士一人の所有に統合されたのであつた。イスラエル国の首相はその巻物全部を納めて置くための宮として知らるべき特別の博物館を建設する提案を発表した。単に最初発見された洞くつのみが開発されただけでなく広範

な地帯に亘る多くの他の洞くつもベドイン人（遊牧の民）や専門家達又は両者によつて調査されたのであつた。多くの断片的文書が発見された。これ等の洞くつには系統的に番号がつけられた。最初発見されたのは当然に才一洞くつ或は一Q（QはクムランのQ）として知られている。

私は才三洞くつに於ける尋常ならざる発見即ち通常に見られる皮又はパピルスの如きものでなく銅に刻み書かれた二つの巻物に就て述べねばならぬ。一つの巻物は二条の銅が共に巻かれてあり明らかに最初は紙で結合されて約長さ八呎幅一呎の金属板を形成していた。この巻物に刻み記された文字は金属が酸化したため判読するに困難であつた。然し一九五六年の始めにマシエスタの工芸大学のエチ・ライト・ペーカー教授が輝かしい成功をおさめその巻物が判読され得るに至つた。わずか巻物全体の五パーセントがその操作中にそこなわれただけであつた。一九五六年に銅の巻物の内容に就て発表された時それ等が六十部の宝の蔵所に就ての言伝えを含んでいることが明らかとなつた。宝の総重量は金、銀、香料等よりなり報ぜらるる処によると二百噸以上で大部分がエルサレムの近隣にかくされている。宝の或部分は既に遙かギリズム山及びヘブロン山（五十哩離れている）の方に迄秘められていゝと言われている。それが真実であるや否やはまだ判明されていない。私はまだ如何なる宝も掘出されたと云ふことを聞かない。

洞くつ内の発くつが進行するにつれて未知の写本の断片が数千と回復された。才四洞くつのみでも約三百三十巻の巻書を代表する数万の断片が回復された。これ等の巻書の内九十巻が聖書の一部であると言われている。事実すべての旧約聖書がエステルを除いて全部発見された内に見出される。又今迄世に知られなかつた或経外書及び註解や詳解、讚美歌並に或社会団体（

共同体）に關係ある宗教的文書等も発見された中に見出される。

これ等の断片に就てそれを訳して同一の一巻にまとめ上げる問題を除き只きれいに掃除して開卷し写真にとるだけでもぼう大な任務である。有名な学者の一人が今日パレスティン考古博物館の巻物室として知られている長い部屋でこの辛抱を要する仕事にたづさわつてゐるのである彼等の勉らきの完全な報告は多数の叢書となつて漸次現れて来るであらうがその一つとして既にカトリック神父のデイ・パセレミ及びジェ・テイ・ミリック編集のオツクスフォードクレヤレンドンプレスにヨルダン荒原の発見と題して出されたのがある。

これ等の写本持に才一洞くつから発見されたものは何時頃書かれたものであらうか？

意見は若干相違して居り又或文書は他のものより古いに相違ない。ミラーバロウズ博士は各方面よりの研究によりすべての写本を歴史的に約紀元前三百年から紀元六十年又は七十年の間のものであるとした。最も重要な巻物の一つ完全なるイザヤ書（イザヤA）は紀元前一七五年から一〇〇年の間のものであり、ヘバククの巻物は紀元前一〇〇年から紀元二十五年の間のものであり、社会団体（共同体）の規律に関する巻物は紀元前一二五年から一〇〇年の間のものである。我々にとつて特に興味ある事実はイザヤの完全な巻物はクムラン共同体の発見以前に知られてゐる如何なるヘブライ語の完全な旧約聖書よりも約千年も古いと言ふことである。この最後のイザヤ書の写本が発見される迄はヘブライ語の旧約の写本の最古のものはわずかに紀元九一六年頃にさかのぼるものと確認されている。

茲に我々はクムランで発見された主な写本の内容を検討して

その学者にとつての一般的重要性特に末日聖徒に対する如何なる重要性をも觀察して見よう。

最初に出版され然も異常な注目を浴びたのは完全なるイザヤの写本であつた。これはエルサレムの聖マルコ修道院のサムエル大主教の手に入つたものである。それはイザヤA巻物として参照されている。ヘブライ大学の故スケニク教授が今日イザヤB巻物として知られているイザヤ書の不完全な写本を獲得した。この写本はイザヤ書三十八章から六十六章迄を含む大きな部分（或切斷を伴う）と十章十三章、十九章から三十章、三十五章から四十章を含む幾つかの小さな部分から成立している。このイザヤの不完全な写本はイザヤAよりもよく書かれてありその後の時代の伝統的マソラ学者のヘブライ語のテキストに近密に一致している。私はまだイザヤBのテキストを検討する機会を持たなかつたので私の論類をテキストイザヤAに限定しよう。

テキストは大部分学者間に並及している伝統的ヘブライ語のテキストに類似しているが多少かれ少かれ重要な詳細に於て多くの相違点がある。この巻物が伝えられた時字者だけでなく多くの教育ある此の道の愛好家達がこの巻物がイザヤのテキストに就て今迄起つて居た多くの文章上の問題を解決するだろうか、どうだろうかと注目した。例えば此の写本がイザヤ書に二部或は三部あることを証明するのではなからうか？ここに普通字者の名づける「オニイザヤ」「オニイザヤ」の何物かがあるのではなからうか？そして私は特にこの写本の光明がモルモン経のイザヤのテキストの問題の上に投ぜられるのではなからうかと期待して興味を持つたのであつた。

今日このテキストは既に出版されて批評家達は既に周知のものと何等異なつていないと告げている。けれども私はアモツの

子のイザヤ以外の著者のテキストの實在を証明する事はこの批評家達の肩にかゝつていと主張する。彼等はまだそれをなしていないのである。解かにこの点に於てテキストイザヤAと七十人訳聖書（ギリシャ語）のテキストとは批評家達に依じてくれない。何となればこれ等の文書は紀元前八世紀のイザヤ以外の著者達がテキストに如何なる働らきをなしたとのヒントも含んでいないからである。

我々がオニイザヤオニイザヤの著者の生きて居た時代に近いと思われる程の昔のイザヤAの写本を持つた時、我々は当然にその著者が彼等（オニイザヤオニイザヤの著者）に就て何等かの事を知り得て彼の写本に洩らし得ただろう事を期待する事が出来る。けれども著者はオニイザヤ或はオニイザヤ及び其他の想像される著者に就て何も知つていなかったらしい。そしてその巻物は明らかに或批評家達の唱えるイザヤ書の一章か二章は紀元前一六八年に続くマカベ書の時代のものであると言ふ理論を捨て去つたのである。

聖マルコ写本と伝統的ヘブライ或はマソラのテキストとの間にそのスベルと文法に於て異常な相違があるがその言葉に於て本質的に一致している事は顯著な事実である。

我々が最近発見されたイザヤのテキストと今迄我等に与えられていた最古の完全なヘブライ語の中世紀のテキストとの間に一千年の経過があるのを考える時我々は其処にほんの少しの事実に似ない事に驚く。故に聖マルコ写本はイザヤの伝統的テキストの眞実性を証明する事に於て極めて重要なのである。

イザヤ巻物が持つてゐるであろうと考えられる他の重要性はテキスト批評の部門に存するであろう。最近の標準聖書改訳委員会（旧約部）がイザヤの訳を考慮した時イザヤ巻物の異なつた読方を取つた。ミラーバロウズ博士によれば委員会は巻物が

伝統的テキストに相違した十三の読方を彩用した。パロウズ博士は今日この十三個処に於ても巻物の読方の優越性は必ずしも確かでないと言明している。そして更に改訂の為に恐らく彼も投票したであろう或場合に於ける委員会決定は間違っていると思ふ。自覚した事を認めている。(続く)

質問欄

✓ 身に変化を受け生きながら
天に取り上げられた人は？



「質問」

エライジャの使命について研究している時に「生きながらにして天に移された人」に關し、次の如き質問が生じた。我々はイエスキリストが復活の「最初の実」であることを知っているが、聖典によると、エノク(モーセの書七章二十一節)とエライジャ(列王紀略下二章十一節)は天にとりあげられたと述べられている。生きながらにして天にとりあげられた人はどのようにして復活を受くる前に天に住うことが出来るか。

「解答」

我々は近代の啓示から「...この世に導きと恵みを施す天使らにして、現にこの世に属しまたは嘗て属したる者にあらざるはなし」(教義と聖約百三十五章五節)ということを知っている故、アダム及びノアの洪水前の予言者たちに現われた天使は肉体を持たない霊であつたと考えられる。その時代より

予言者たちに教えを施すために遣わされた天の使たちはこの地上に住んでいた人たちか、又はその目的のために生きながらにして天に移された人たちの霊であつた。我々は、触知し得る肉体を持ちたもうたイエスの復活前に遣わされた天使はみなこの地上に生き、且つこの世の人たちに対する使者となるために生きながらにして天に移された人たちであつたと確信している。この点については、アブラハムのもとに來た訪問者及びヤコブと取組み合いをした人の話を考えてみると、明白にされるであらう。

高価なる真珠によると、エノクが生きながらにして天に移された時、シオンの都の住民も又取りあげられ、その身を変えられたと記されている。この外にどれ位の人たちがこの様な榮譽を授けられたか、我々の知るところではないが、聖典に記録された以外にも多くこのような人たちが居たと仮定することが出来るのである。特に著しい例として、エノクの場合と同様、エライジャの場合がそれであり、こうした予言者たちにこのような大いなる祝福が附与されるという目的は彼らがこの地上に恵みと導きとを施すということである。

実に主はアダムの時代から現代に至るまでの神権を所持する権能ある僕たちをこの地上に保存したまい、事実創世よりこの地上に聖なる神権を所持する人の居らなかつた時は、一時だになかつたのである。背教の時代に於てさえも、——背教は数回生じたのであるが——主は決してサタンにすべてのものの統治をやらせるようなことはなかつたのである。救主の使徒たちの殉教後発生した大背教の時に於てさえも、天父なる神はすべてを統治したまい、且つその御業を指示し、悪魔の力による崩壊と破壊とを少くともある程度までにくい止めるために、この地上に権能ある僕たちを置きたもうたのである。こうした僕たち

は教会を組織したり、福音の儀式を司どることを許されなかつたが、主の必要と見做したもうに従い、悪魔の力の運行を阻止するように努めたのである。この真理は教義と聖約才四十九章中の主の御言葉の中に明らかにされて居り、その御言葉は次のようである。

「この故にわれすべての人に悔い改めんことを欲す。そは世の人々はすべて罪を負えり。われに残し置きたる者共、すなわち汝らが知らざる望き者共を除きてはことごとく罪を負いたればなり。」

我々は、黙示者ヨハネ及び三人のニーフアイ人が身を変えられた状態で「人々を汝に導かんため」(教義と聖約七章二節)この地上に留るといふ特権を与えられたことを知つてゐるが、我々は、又このことがヨハネ及び三人のニーフアイ人の願ひであつたということをも知つてゐる。(教義と聖約才七章参照)

聖なる天使たちよりもてなしを受ける

こうした人たちが長い靈的暗黒の時代の間に主の召しに従ひこの事業に従事していたと信ずるのは理に適つたことであり、このような聖なる天使が地上の国々に忙がしく働き、且つ人々は氣付かずして天使よりもてなしを受けたといふことを示す、確實と思われる伝説と物語があるのである。故に我々は、これらの生きながらにして天に移された予言者たちが常に人間に知られない国々及び人間の行動に抑制を加えていたと信ずることが出来るであらう。

生きながらにして天に移された人たちは、死の過程を経なかつた人たちであり、霊と肉体とを分離せしめなかつた人である。彼らは救主の来り給う時まで待たなければならなかつたのである、その間中、彼らはイスラエルの長老たちが出かけて行つて、

世の隅々に至るまで救いのおとずれをもたらすための備えをなすという、輝やかしき使命を忙がしく成就しつつあるのである。

○・・・ジョセフ・スミスへの啓示の抜萃

予言者ジョセフ・スミスは啓示を通して多くのことを教えてゐる故、生きながらにして天に移された人たちが及び彼らのなす事業の特質について我々は次のスミスの抜萃文からはつきり知ることが出来るのである。

「身に変化を受け、生きながらにして天に移されるということに關する教えは、神権に屬する一つの力である。神権の力と鍵とに屬する事柄には多くのことがあり、これらのことは、創世の前よりかくされており、末の日に啓示されるために賢き人たちが分別ある人たちの目よりかくされてゐるのである。」

多くの人たちは「生きながらにして天に移される」といふ教えはそれによつて人は直ちに神のみもとに取りあげられて、永遠の全きに入るといふことを意味する教えであると想像してゐるが、それはあやまつた考えである。生きながらにして天に移された人たちの住うところは月の榮の位に屬するところ、その場所には神が多くの遊星に対して恵みと導きを施す天使となるために備えたもうたところであつて、彼らは死より復活してゐる人たちの如く大いなる全きに未だ入つていない人たちなのである。「・・・ある人は更に勝りたる復活を得んために免さるることを願わすして極刑に甘んじたり」(ヘブル書十一章三十五節)

さて、今こゝで「更に勝りたる復活」のあることが明らかになつた。さもなくば、神はこのことをパウロに啓示されなかつたであらう。では勝りたる復活は一体どこに於て語られ得るのであらうか。事実上の復活と生きながらにして身に変

にをけることとの区別は明確に定められて居り、身に變化を受けることは肉体の苦痛や苦惱より解放されるのであるか、その存在期間は、大いなる休息と榮光の場所に入る前に、恵みと導きとを施す事業をなすために延引されるのである。

身に變化を受け、生きながらにして天に移された人の肉体は、死に相当する變化を経るまで休息に入ることは出来ない。こうした人たちの肉体は將來の使命に對して備えられているのである。

パトモス島でヨハネに現われた天使は、身に變化を受け、生きながらにして天に移された肉体か又は復活体を持つた人であつた。イエスキリストは復活後、復活した人たちに導きと恵みと恵みとを施すために肉体をもつて出て行かれた。アダムの時代より現代までには、権能と力との一連のつながりがあるのである。

私はこの偉いなる教会の隅石と呼んでよい四つの大きな、靈的な出来事があると信じている。

その第一は謙遜に眞理を知りたいと望み、祈るべく森に分け入った少年、ジョセフに与えられたかの示現に他ならない。四週間前に私はかの神聖なる場所に立ち、頭を垂れ、ジョセフがまさしく予言者であるという私に与えられた証しに對し、心からの感謝を捧げる光榮に浴した。私はその場にあつて我々の靈の父に在す天父なる神と文字通りの神の御子、イエス・キリストの訪れに接した

教会の隅石

ジョン・ロングデン長老

ジョセフの経験は如何ばかりであつたろうかと当時の模様をまざまざと心に描いてみた。まことに天父なる神とその御子イエス・キリストが親しくジョセフを訪れ給うたのはジョセフの謙遜なる嘆願と祈りに答えるためであつた。私はその示現を信ずるものである。

第二番目の大きな出来事はモルモン経がもたらされた事であると私は信じている。モルモン経はジョセフ・スミスによって書かれたものではなく我々の天の御父の靈感のもとにジョセフ・スミスが編訳したものである。

第三番目の大きな出来事はイエス・キリストの

教会が使徒、予言者、監督、教師、祝福師をもつて組織された事であると私は信じている。私は大管長会の会員、十二使徒評議員会の会員がまさしく生ける神の予言者であり且つ神の代表者であり今日の世界に對する神の特別な証人である事を証するものである。

更に私は、終りに第四番目の隅石である靈的な出来事はジョセフ・スミスが世に与えたメッセージの中に含まれている眞理の且体化であると信じている。即ち靈的な物事を全く大變革した事、ジョセフの時代に至るまで教えられてきた人間の教

えに明らかに反する「あるもの」を且体化した事である。そしてその且体化された福音の中に我々は生活を営んで行くその生活様式がもたらされると云う事ができる。何故ならばイエス・キリストの福音が私に生きる方法、即ち死に方ではなくあらゆる問題あらゆる試み、あらゆる艱難のあるこの世の生活をたのしく営むよう教えてくれるからである。

(千九百五十五年十月に開催された半年毎の總會に於て十二使徒會補助ジョン・ロングデン長老の演説よりの抜萃)

信仰と

証詞

過去をして

逝かしめよ

室蘭支部 石井 正道

一九五七年はもう直ぐ逝こうとしている。如何に考えても今年は私にとつて生涯の最も良き年であつた。世間の人々は私に向つて「今年は、あなたには悪い年でしたね（私が妻を今夏亡くした事）」と言つて慰めてくれるけど、私は妻の死を契機として現世では最高の価値有るものを確實に得ることが出来たから、私はバイブルの福音をこの教会で確かに受入れることが出来た。この末日聖徒イエス・キリスト教会で私はキリスト教の本質に疑うこと無く触れることが出来た、これだけはハツキリと表明して憚るところはない。

「我らは凡ての事を御意の思慮のままに行いたまう者の御旨によりて予任せられ、キリストに在りて神の産業とせられたり」（エペソ書第一章十一節）全くこの通りであり、私がこの教会に来る事は予め母の胎を出る以前より予任されていた事を私は固く固く信ずる。六年前私

が内村鑑三の著作に依つてキリスト教に漸やく開眼してきたこと、今年の初夏の妻の急死、そしてその十日後私が偶然在宅していた時エリス長老とアストル

長老との家庭伝道を受けたこと、この三つの条件のただ一つでも欠けたら私は決してこの教会には来れなかつたであろう。思えば人の思いにすぐる神の御業の奇しさとつくづく思う。

それから八月四日のバプテスマ、「単なる形式に過ぎないだろうけれど一度は受けなければ」そんな考えが事前に無かつた訳では無い事を告白する。然かし結果は全然思いもよらぬ大きな変化が私の身心に來た。智慧の言葉を守らぬ日々は漸次苦痛となつて來、ついに刺戟物の摂取を全く捨てた。

入信以前には幾度努力しても能わなかつた事がこの度は驚く程易々と実行され何等の苦痛を感ぜぬ許りでなく、却つて清が清がしい解放感を味わう事が出来た。この事も意外であつた。安息日毎の教会通いも受浸以前にはきざとさえ感じたお祈りの言葉は



快よい響きを私の胸に与え始めた。特に私の教師となつた姉妹の人々の敬虔な信仰に接しているうちに私の精神生活は怒とうの逆巻くような急激な変ぼうを生じた。私が二十才の頃抱いていた浄らかなもの、凡そ純粋な美しい生活に対する火のようなどうけいが再び身うちによみがえつてきて、身も心もうすくようにすら感じ始めた。

「この教会の上には聖霊が星のように輝やき宿りたもう」そんな事まで考えこんで夜の冢路を辿る。私は受浸以前と、ものの考え方が全く變つてきたことを自ら意識する。日常生活上の煩悩いは影をひそめ始めた。日々の行為の結果の外面的成否に就て予じめ過度の心労は神に對しては不信の罪となるを免れない。

「神を愛する者、すなわち御旨によりて召されたる者の為には、凡てのこと相働きて益となるを我らは知る。（ロマ書第八章二十八節）この保証さえあれば、充分である。

山のあなたの空とおく「幸」住むと人のいうあゝわれ人にとめゆきて涙さしぐみ帰るきぬ山のあなたになおとおく「幸」住むと人のいう

ニユース欄

挨拶

(系図委員会に就て)

今度ポール C. アンドラス北

部極東伝道部長より本伝道部の系図の仕事をするように命ぜられ本伝道部系図会長の重責に召されました。皆様の支持を待つて聖任される筈ですが既に召されたと同じく仕事を始めるようにとの事ですから早速皆様の最も大切な先祖へのお仕事のお手伝いをさせていただき度いと思ひます。

就きましては、今後神殿の儀式を受ける為に提出する一切の書類は貴支部系図委員会より本伝道本部系図会に提出、本部を通じてアメリカの系図協会、神殿に提出する手続を取るように致しますから右に御協力お願い致します。

尚系図委員会未組織の支部に於てはこの奉仕の重要性に鑑み至急組織され度く、未組織中前記の提出書類がありましたら支部長会を通じて御提出下さるようお願い致します。

本年度系図のクラス(第一日曜

日の日曜学校の信者のクラス又は特にクラスのテキストとして家のテキストとして

春の祝福が本部に於て三月中に発行の予定ですから多分御発注下さるようお願い致します。

また将来各支部会員間の相互援助と勉学に資し以て本伝道部に於ける系図の仕事を進捗すべく月刊「系図協会」(仮称)を本部に於て発刊致し度いと思ひますがそれ迄は聖徒の道に系図協会のらんを特設して戴く事になりました。

更に貴支部に於ける会員の系図に對する関心、現況(系図委員会組織されてある支部に於ては、委員会組織の経緯、過去の業績も含む)等に就て早急に御報告下されば幸甚に存じます。

最後に貴支部に於ける系図の仕事の発展に豊かな主の祝福がありますよう又皆様のこの仕事に對する忠実な奉仕によつて本伝道部に神殿の建つ日の一日でも早められよう心からお祈り致します。

北部極東伝道部

系図会長

渡部 正雄

会員各位

新訳モルモン經に就て

(承前)

佐藤 龍猪

先月号に引きつづいて第七の項目に就て申し上げます。

ニーフアイ第四書。

章 節 旧 訳

一 一 侵礼

一 十一 天主(四)

一 十四 神の樂園

モルモン書

一 一 天主(六十五)

二 十五 靈魂

三 一 十年の間

三 二 侵礼(五)

三 十六 御靈(三)

五 十四 天父(三)

五 十八 天父なる神

七 七 一つの神会なる三体

八 卅三 死後の罰を招き

九 二 小羊(二)

モルモン書

九 四 死後の罰

九 廿三 死後の罰を受く

イテル書

一 一 天主(百二十二)

一 十一、十二 シブロン

一 四一 汝の妻等と子等

二 十五 我靈

三 一 小さな石を切出し

新 訳

主

神のパラダイス

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

主

小さな石を熔し出し

三	一	ガラスの如く白くして	透明なガラスの様に澄んで
三	三	わが岩より切出せし	岩から熔し出した
三	十三	原墮落	始祖の墮落
四	十二	我及び我が有ること	われすなわち「われあり」
四	十八	浸礼(三)	バプテスマ
十二	八	天父(二)	御父
十二	十	神の聖班	神の神権
十三	十	小羊(二)	子羊
十四	廿八	シユルの谷	シヤルの谷
モロナイ書			
一	二	天父(十二)	御父
四	三	御盤	「みたま」
六	一	浸礼(十八)	バプテスマ
七	卅八	贖救の道	贖い

以上

才八 頭註

(イ)旧訳モルモン経には旧版英文に従って例えば、二百十三頁頭註「ユ、所謂基督教の諸の宗派ならんか」という。

八百六十六頁頭註「オ、此証明に拠て波古代の人々硝子の製法を知りたりしこと明なり。」

というような頭註がありました、このたびは一九五二年版英文モルモン経に従って同版にのつていない頭註は新訳モルモン経にもつて居ません。

(ロ)旧訳頭註の順序を示すイ、ロ、ハ、ミ、ヌ、ヘと付すてあります

たが、このたびは改めて各書毎としニーフアイ第一書の頭註はイから始まり、ニーフアイ第二書の頭註は同じくイから始まるようにしました。

(ハ)引照書名の略号を改め、また或る漢字を仮名に改めました。例えば、

モー一〇四、モ書九〇卅二、卅三はモーサヤ書一〇四、モルモン書九〇卅二とし

王下廿四〇十八は列王紀略下廿四〇十七、十八とし第一六〇一はニーフアイ第一書六〇一とし米四〇一至三とし、太十六〇十

八はマタイ伝十六〇十八とした如くであります。

才九 各頁上隅に紀元年を記入した。

才十 旧訳にあった目次は各書各章の前書を以てこれに換えました。

才十一 人名の中で英文モルモン経(一九五二年)にある発音表に従って変換したものがあります。例えばバホーランをベーホーランにパチヤスをベーカスにした如くであります。

伝道本部より

(終)

宣教師到着

リチャード ポーター 長老

トーマス モッス 長老

◎ 転任

ボ ー プ 長老 新地 湯

ウ イ テ カ ー 長老 本 部

遠 藤 長老 旭 川

ウ オ ー カ ー 長老 東京南

ウ ツ ド 長老 東京西

モ ツ ス 長老 札幌

ボ ー タ ー 長老 室蘭

ヒ ー ル 長老 沖繩

ブ ー マ ン 長老 朝鮮

の支部長新任

ウ	オ	ル	ベ	ツ	ク	長老	札
ポ	ー	ル	ル	長老	岡	町	幌
シ	ョ	ー	ン	ズ	長老	柳	井
◎	バ	プ	テ	ス	マ		
比	嘉	鶴	子	(東京中央)			
川	畑	美	ほ	子	(東京中央)		
鈴	木	ゆ	き	(東京中央)			
高	原	貞	子	(岡山)			
岩	田	宏	子	(東京北)			
山	田	政	伯	(東京北)			
松	川	純	一	(新潟)			
佐	藤	純	一	(新潟)			
岩	瀬	吉	隆	(名古屋)			
加	藤	かつ	や	き	(名古屋)		
吉	沢	興	子	(札幌)			
岡	本	貴	明	(山形)			
岡	本	ふ	じ	(山形)			
徳	武	昭	男	(松本)			
松	本	恵	美	子	(室蘭)		
大	塩	隆	子	(室蘭)			
川	上	輝	男	(室蘭)			
望	月	ト	ミ	(新潟)			
後	藤	あ	つ	子	(新潟)		
グ	ラ	文	江	(東京中央)			
加	藤	俊	大	(横濱)			
古	谷	千	鶴	子	(横濱)		
新	山	泰	子	(仙台)			
吉	田	勝	男	(仙台)			
酒	井	昭	男	(三宮)			
寺	尾	慶	子	(三宮)			

齊藤 洋子 (旭川)
 湯浅 初江 (高崎)
 中谷 悦章 (高崎)
 芝崎 英世 (高崎)
 和田 定雄 (高崎)
 樋口 立美 (広島)
 龜井 あつ子 (広島)
 小田 ひろし (広島)
 坂口 正剛 (福岡)
 白石 正弘 (福岡)
 坂本 吉章 (岡山)
 宮城 節子 (岡山)
 徳たけ 節子 (岡山)
 徳たけ 美代子 (岡山)
 木下 隆子 (岡山)
 大江 豊子 (岡山)
 杉本 安子 (岡山)
 石川 剛 (岡山)

西宮支部発足す

地方部長、フーバー長老及びその同僚の宣教師アンダーソン長老の御努力を通して、ここ西宮の地に、神様の御業を一步進めることになりました。(於、今津公民館)

最初の各集会及び出席者数は次の通りであります。

神権会(五名)、日曜学校(七名)、聖餐式、証会(七名)、MIA(十五名)なお新支部設置にともない、岡町支部との境界線が

決定し、登録された会員数は十三名です。(十二月八日)

組織決定。早速、次の様に組織が決定し、十二月八日按手聖任されました。開拓者精神をみなぎらした、活潑な会員の働きが期待されています。

(支部長会) 支部長 ヘンリー
 タカハシ長老
 第一副支部長 安芸宏(長老)

(神権会)
 教師 田口 広道 (教師)
 書記 安中 福司郎(執事)

(日曜学校)
 会長 田口 広道
 第一副会長 細田 泉(執事)

書記 安井福司郎
 教師 (会員の級) 細田 泉
 (旧求道者級) 田添 昌子
 (新求道者級) 田口 広道

(MIA)
 会長 植村 茂夫
 第一副会長 日高千鶴子
 第二副会長 安芸 宏

教師 (会員の級) 植村 茂夫
 (旧求道者級) 日高千鶴子
 (新求道者級) 安芸 宏

(ダンス) 田口 広道
 (音楽) 日高千鶴子

宣教師着任

支部長、ヘンリー 高橋長老と同僚宣教師、ネド クリスチャンセン長老が着任されました。(十二月) クリスマス・キャロリング

業について、安芸兄弟及びフーバー長老から、有意義なお話を聞いて後、クリスマスの歌を練習して出発、西宮市立病院を訪問しました。そこで、西宮交響楽団と間違

って放送されたのには一同目を白黒していました。が、それでも、一部の入院患者と共に明るく歌い、心から、一日も早く快復される様に祈りながら病院を後にしました。

宣教師宅へ向う途中、窓や庭から、我々の歌声に合せて歌はれた方々もありました。準備された、クッキーと飲物をいたよきながら、ゲームに興じ、十時十五分無事楽しく終りました。出席者数は二十八名。(廿四)

ファイヤー サイド
 クリスチャンセン長老の司会により、「統一ある教会」と云うテーマについて、植村兄弟、日高姉妹、フーバー長老、田口兄弟から、そ

れぞれ、意義深いお話を聞きました。八時三十分無事閉会、出席者数は十三名でした。(一月五日)

ブランチ ティーチング
 神権会席上、計画を持つ機会に恵まれ(登録された会員十三名中)五名の不活潑な会員を導くため、レッスンを研究し、グループを決定しました。早速、今週から活動を開始することになり、先づ第一の目標を導くのも、我々神権者の背にかかっていることを自覚しました。今後毎月の第三週に開く予定です。(田口 広道)

アメリカの子ども
 同時にバプテスマ

送別会と歓迎会。プロックス長老が転任される事になりましたので十一月十五日の夜送別会を行いました。又この時に新しく横浜より転任されたアステン長老とアメリカより来られたばかりのヘエダ長老の歓迎会の集いがありました。この会には旅行中のピーマン長老とホキ長老をお迎えする事が出来ました。

大会出席十八名。南中央地方部大会に神戸の三宮で開かれた十一月十六、十七日の二日間の当支部

よりの出席者は会員並びに求道者
合せて十八名。

MIAの感謝祭・十一月廿八日
は特別プログラムの夜として飲物
ケーキ、果物と食物が用意されゲ
ーム、ダンスを行い楽しい感謝祭
の夜を過ごしました。出席者は四十
五名。

クリスマス パーティ。MIA
では十二月十九日の夜行いました。
このキリスト降誕祭には、ゲーム、
プレゼント交換、ダンスと共に飲
物、果物、ケーキの食物の用意さ
れ、美しく飾られたクリスマスツ
リーをながめながら楽しい夜を過
しました。出席者六十四名。

日曜学校、初等協会の子供のク
リスマスパーティが十二月廿四日
夜行われました。子供達の美しい
愛らしい劇とゲームがありMIA
の演劇部の劇が上演され、子供達
は又プレゼントの菓子と出席日の
多い者達は特別なプレゼントが渡
された。この夜、子供達の父兄の
出席者も多く子供達の出席者は六
十名でした。

扶助協会・今月は活動としまし
て、クリスマスプレゼントを入れ
る靴下をアメリカの姉妹の指導の
下に作りしました。この靴下は会員

(アメリカ)の骨折りの下にアメ
リカの会員の間に売る事が出来ま
した。

バプテスマ・十二月廿八日の朝
教会の附近のお風呂屋にて岩瀬吉
隆、加藤勝征の二人の兄弟が誕生
しました。二人の兄弟は中学高校
の生徒であり当支部もだんだんと
神権者が増す事となりました。又
この同じ場所でアメリカの八才の
子供のバプテスマがその子のお父
さんより与えられました。(名古屋)

モルモン家族生る

十二月一日(日)七時半からミ
ツシヨンホームでフアイヤーサイ
ドの会として、石谷兄弟の協力に
よるレコードコンサートを聞きい
ろいろの曲を聞きました。

岡本賢明兄弟、同ふじ姉妹夫妻
のバプテスマの式が十二月廿四日
にありました。主の御恵みによつ
て私達の支部では二番目のモルモ
ン家庭が出来ました。この日、子
供達のクリスマスパーティーを午後
から開き又夜七時からMIA主催
によるクリスマスキャロリングに
出掛け、帰ってから扶助協会の人
達の作ったドーナツ等を食べなが
ら心からこの降誕をお祝い致しま

した。そして廿五日は労働会館で
夜七時からクリスマスパーティーを
開き楽しく又有意義な会を持つこ
とが出来ました。(山形 草壁)

敬けんな春の集い

岡町支部行事のかずかず

昨年末から本年初頭にかけて当支
部にも色々な動きがあった。まず
支部長ウエタカ長老が伝道本部へ
転任され、その後任として札幌か
らアルフレット V ボール長老
が来任されたことをお知らせしま
す。次に新たにアロン神権を援与
された方は曾根崎清兄弟で一月二
十二日執事に按手聖任され、また
上野山研次郎、川口弘裕両兄弟は
教師に聖任されました。なお曾根
崎兄弟は日曜学校年少求道者クラ
スの教師に任命された。

さる十二月十四日午後六時半か
ら箕面山の清流において坂本吉章
さんがバプテスマを受けて会員と
なられました。かくて昨年末以来
繰ひろげられた当支部の行事は大
要次の通りです。

◎クリスマス パーティ(十二月
二十六日夜) 阿倍野、三宮、西宮
各支部からの参加者もあって出席
七十名。劇「河」プレゼント交換

おすしの会食など和やかな雰囲気
裡に睦み合う。二十八日夜はMIA
主催のフォークダンス会を開く。

◎新年の諸会合(一月二日) 古矢
兄弟のコレクションによりレコー
ドコンサートを開く、参加四十名。

(三日) 午後二時から日曜学校主
催の新年会パーティーを開き、出席
者のかくし芸、ゲーム、手品、漫
談、民謡、歌謡、舞踊など可愛い
子供達の出演もあったが、食事は
日曜学校役員の腕をふるった特製
品で一同腹鼓を打った。出席五十
七名の盛会であった。

(八日) 扶助協会第一回の集りで
北岡姉妹により「教養と聖約第二
章」の勉強をした。出席十一名。

(十一、十二日)
支部大会、新年にふさわしい敬け
んな日を過ごした。(阪本 幾代)

室蘭のクリスマス

—— 毎月会員が殖える ——

十二月一日聖餐式に引続いて本年
最後の証詞会が開かる、一月証詞
会の倍の会員が出席しました。毎
月会員が殖えていることを目のあ
たり見、神の恵みの多いのに一同
心から感謝致してをります。会
員十九、求道者二十八、夜はフアイ

アサイドをかね午後六時からエリス長老のさやかな誕生日の祝いの会を楽しく開きました。また五人の独唱を聞きながら夕べの一時を過ごす(十七人)

バプテスマ。十二月二十二日。川上輝男、松本恵美子、大楊隆子と三名の方がバプテスマを受け新しく会員になりました。彼等に祝福のあらんことを。

クリスマス キヤロール。十二月廿四日。午後六時から教会に於てエリス長老司会によりクリスマス(六曲)を全員で合唱し、キヤロールの成功をお祈りして午後六時半、病院訪問に出かけました。まず始めに日鋼病院、つづいて田中、民主、北原各病院を訪問し、そのあと市の中心地にある小公園で真のクリスマスを市民に理解していただく為に聖夜ほか二三曲の歌を歌い有意義に一夜を過ごしました。聖霊の力が終始我れ我れにありましたことを一同心から感謝してをります(廿一人)

十二月廿五日、子供のクリスマスパーティーを午後一時半より多数の子供と父母、会員が出席して開かる、会堂いっぱいの人々が見まゐる中に、子供の舞踊、クリスマス

の劇、越谷姉妹のお話、コーラスそれに梅津兄弟のサンタクロースから子供達への学用品のプレゼント等次々に行われました。この会が聖霊にみたまされキリストの誕生日にふさわしい会でありましたことを感謝と喜びでいっぱいでした。準備して頂いた方々にも感謝致します。(一二十人)

大人のクリスマスパーティーは午後六時半から石井兄弟司会で開かれました。扶助協会の方々の用意して下さいましたすばらしい夕食をなごやかにいただいたあと、兄弟、姉妹、求道者による聖書劇が行われる、ついで越谷姉妹のお話、日本語と英語によるコーラスが四組に別れて次ぎ次ぎと歌われ、最後にサンタクロースにふんしたボツブ長老のもとに全員プレゼント交換を楽しく行われました。この日晋段あまり出席しない会員や、子供さんをつれたお母さんの姉妹が来てをりましたが大変うれしく思

つてをります。(四十二名)

宣教師移動、廿八日新任のリチャード ポーター長老来任、三十日カール ポツブ長老新潟支部へ転任。

(川崎)

十二月の横浜支部

支部の会員数、支部近くの風呂屋さんで二人の兄弟姉妹が誕生した。(十四日)これで横浜支部は九十五名にメンバーが増えた。

支部大会、(十五日)一般大会に午前十時半から一時まで盛大に行われた。訪問者は、ウエルチ第一副伝道部長、シヤムウエイ第二副伝道部長、シン中央地方部長、その他沢山の長老姉妹。お話しは「信仰と希望」川島一夫兄弟「謙遜」宮坂徳久兄弟「慎しみ」倉沢宏子姉妹「愛と慈悲」渡部正雄兄弟「神の愛」シン長老。そしてウエルチ長老からは「進歩とお祈り」というすばらしいお話しがあり、一同感めいた。

新支部長会。この日聖餐式で、新しい支部長会の構成メンバーが発表された。

(支部長) 鈴木正三兄弟

(第一副支部長) 渡部正雄兄弟

(第二副支部長) 沢山正義兄弟

この三人の方々から「皆の支持を感謝し、助力を願う」という挨拶があった。

演劇。九日、夜MIAによる「長靴をはいたねこ」という演劇が発表され、メーキャップの上手な

こと、一生懸命なので大変よかった。セリフをもう少ししっかり、...などにぎやかだった。

クリスマス。廿三日、夜クリスマスイヴが催され、アリー長老のサンタクロースでプレゼント交換が行われ、さらに、クリスマスキヤロールに出かけ、静かに聖夜は更けた。二十四日は東京、千駄ヶ谷区民講堂でクリスマス イヴの音楽会が開かれ、支部からも多数出席、靈的にすばらしい、楽しい時を過ごした。かくして、新年を迎えるための年の瀬は暮れて行った。

余沢支部の大会

(十二月二十一、二十二日)、ドレスメーカー女学院においてたのしいクリスマスに支部大会を地方部長フーバー長老とアンダーセン長老をお迎えして開催。

MIA大会。二十一日夜のクリスマスプログラムは美大の荒木さん(求道者)に腕をふるっていただいた、馬小屋のイエス様の絵をはりつけ、美しくかざられた家で子供たちに興じ才能教育グループの子供たちのかなでるバイオリンやキリスト降誕物語に耳をかたむけ、プレゼント交換にはしやぎの声をあげ又小松、大聖寺の会員の参加

を得てみたされた会であつた（出席者六十六名）

一般大会。二十二日十時半より一般大会をテーマ イザヤ九章六節に基き、「イエスキリストの降誕」「救主イエスキリスト」「イエスキリストの再臨は近し」の三つの題を会員より救主に対する証を一段と深めるすばらしい話を拝聴、管理



ました（日本国憲法を例にとられて）十二時半より聖餐式と証会にて一人一人の尊い証によって集った人々の心の奥深く主の愛が浸透する天国の様な雰囲気であつた。

神権会・二時半より福田長老司会、「アロン神
「子孫の教育についての心がけ」を娘、妻、母の立場より賢い婦人として成長する様にとの心からなる話を、又ワルセン姉妹は「聖書をあなたたちのおこないで翻訳して下さい」とのすばらしい言葉をいたゞく、主のみまもりのうちに閉会す。

権者の責任」「一
よき神権者とは
と題して神権の
職務の範囲、在
り方と如何にそ
の責務を果たすか、
又その結果我々
にもたらされる
祝福について力
強い話を会員よ
り、「神権の有
する力」につい
てフーバー長老
より皆が力を合
せて仕事に従事
したときはすば
らしい力となる
事を力強く出席
者に訴えられた。

扶助協会・「
末日聖徒の娘と
神権者。十月十六日に龜井秀明兄弟は教師、土谷慶昭兄弟は執事に、十二月八日には新保勇兄弟が執事に按手聖任された。

（十二頁信仰と証詞欄続き）

カール・ブツセ（上田敏訳）

山のあなたの幸福は遂に身近に來た。福音とは正しく斯くの如きものであるに違いない。過去をして
勸かしめよ。

（一九五七、十二、二十一）

一九五八年度春期

地方部大会日程

沖繩地方部	二月十六日
南中央地方部	四月六日
中央地方部	四月十三日
南地方部	四月十九日
韓国地方部	五月四日
北海道地方部	五月十八日
北地方部	六月一日

モルモン物語

訳 雄 正 部 渡

著 エマ・マー・ピーターソン

画 江 正 山 石

才十三 章

彼等は船を建設した。

ニーファイ第一書第十七章第十八章

小さな黄銅の球又は方角指示器は彼等が荒野の奥深く旅するにつれずんずんとその進むべき方向を示しました。

彼等はそれをリアホナと呼びました。彼等はその道中で発見した野の実や果実又は弓矢でとった獲物によって生活しました。主なる神さまは彼等に火を使わないように靈感されましたので彼等はすべての食物、肉でさえも生のままで食べねばなりませんでした。けれども主なる神さまは彼等の食物をおいしく彼等が健康で強くなるように祝福されました。

ながい旅の後彼等は美しい海岸に到着しました。彼等はその海岸があまりに大きかったので「多くの水」と名づけました。野生の果物が海岸に沿ってたくさん生え、リーハイたちが其処を「パウンティフル」へたくさんと云う意味と名づけた程食物が豊富でした。近くに山々がそびえて又大変美しい処でした。彼等はパウンティフルに天幕を張ってしばらくの間休

むことに決めました。

或日主なる神さまのお声がニーファイに聞え「立って山に行け」と云われました。ニーファイは近

くの大きな山に登って主なる神さまに何を望まれるのかお尋ねしました。主なる神さまは答えて言われました「私がこの人々を海の彼方に運ぶことが出来るようお前は私の教える方法に従って船を造りなさい」と主なる神さまは又ニーファイに主なる神さまが彼を援けるであろうとお告げになりニーファイはそれを聞いて大変喜びました。けれどもニーファイは道具が足りないことを知って居りました。彼は山中の鉱石から金属をとることが出来ることをおぼえて居り若しこれを発見出来たらとしまして、道具を造ることも出来ました。

ニーファイは主なる神さまにどこに鉱石があるかを教えられまして、それから彼は野獣の皮をとって火を吹く「ふいご」をこしらえました。

彼は小枝や木皮を拾い集め二つの石を打合せて火をつくりました。炎の上に更に多くの薪を置いて強い火にしました。彼が「ふいご」を使うと火は益々強くなりました

ので彼はその火で鉱石をとかしてそれで船を造るところの道具をこしらえました。

これは大きな仕事でありニーファイは援けてくれる人が必要でありました。このように多くの人やたくさんのお食料を運べるような大きな船を造ることは大変な作業でありました。彼は天幕に戻って兄弟たちに援けを求めました。彼等は彼の計画を聞いた時、彼が船の造り方を知らないと言ってあざ笑いました。彼等は又もや彼をいじめようとしてました。主なる神さまのみたまにみたまされて彼は彼等に向い「若しあなたたちが私にふれたならしおれて死んでしまおうでしょう」と云いました。兄さんたちはびつくりして恐れしました。

主なる神さまはニーファイにレーマンとレミユエルを打って主なる神さまのみたまが彼と共にあることを彼等に示そうとお告げになりました。彼の手が彼の兄たちにあふれると兄たちは今迄に感じたことのないような力で打たれました。これは主なる神さまがニーファイと共に居る事を彼等に示すしるしでありました。彼等は彼にお許しを願う作業に手伝うことを約束し

ました。

彼等が新しく造った道具を以て森に行つて木をきりそれで船を造りました。常に主なる神さまは彼等に指示をお与えになりました。

遂に船は出来上がりしました。あわれなニーフアイの兄たちでさえそれがよく出来たことを認めました。彼等はへりくだつて主なる神さまのお援けに感謝致しました。

そこで主なる神さまはリーハイに家族の者に果物や肉、および蜂蜜其の他の食物を船につんで海を渡る準備をさせなさいとお告げになりました。彼等はいろいろの種子をたづさへ海の彼方の新しい土地へ行つてから穀物をうる事が出来るようにしました。皆の者が船に乗つて出帆しました。主なる神さまは彼等が行くべき方向に向つて風を吹きつけました。

船が出帆して後多くの日数がたつてからレーマンとレミユエル及びイジメルの息子たちと彼等の妻

たちは宴会をしようと決めました。彼等は歌を歌い踊りそして大変乱暴にしゃべりました。やがて彼等

ニーフアイは彼等の罪深い行動を見た時主なる神さまが立腹せられて彼等からその祝福を取上げて

その生命を失つてしまふのではなからうかと恐れしました。彼は彼等にその罪深い行動を止めるように頼みました。この事は再び



彼の兄たちを怒らせました。彼等は彼を捕えてむごたらしくのしり彼が少しも動くことが出来ないようにきつくしぼりつけました。

直ちに主なる神さまが彼等の旅を導く為に送ったコムバス（羅針盤）は止つてしまいました。誰もどちらにかじをとつてよいのかわかりませんでした。大嵐が起つて船は三日三晩木の葉のようにゆれ大変危くなりましたが誰も援けてくれる人もありませんでした。

リーハイとサライア及びニーフアイの妻はレーマンとレミユエルにニーフアイを総からといて自由にするよう頼みましたが彼等は却つてリーハイたちをもおどかししました。この事はリーハイとサライアの心をいた

は此のように安全に海を航海出来おしまひになるのではなからうかと恐れしました。彼は主なる神さまの援けなくしては彼等は嵐の中に

るのは主なる神さまのお恵みであることを忘れてしまいました。

四日目には船は今にも沈みそうになりました。

遂にレーマンとレミユエルは自分たちの生命をおそれ始めました。彼等は死ぬことを恐れました。彼等はこの嵐は彼等がその両親及び弟に對しむごい扱いをした為の神さまのおさばきであると思ひました。

悪いしかも臆病な兄たちは今やニーファイの処に戻つて來、彼をしぼつてある繩を切りました。彼の手首足首ははれ上がりました。そして大變痛みました。繩がとり除かれた時ほんとに救われました。

ニーファイは繩をとかれるとすぐコムバス（羅針盤）の処に行つてそれを持上げると動き始めました。彼はそれからこの長い間彼等をゆすぶつた嵐をしづめて下さるやうに主なる神さまにお祈り致しました。彼の祈りは聞かれ主なる神さまは海を静かにさいました。

船に乗つていたすべての人が波のしづまつた事に感謝致しました。今や静かな風が吹いて船を勝手に向つて運びました。ニーファイはコムバスの指示する方向にかじをとりました。尚多くの日数をへて彼等は約束の地アメリカに到達し

ました。

旅は年老いたリーハイとその妻サライアにとつては困難でありました。旅の途中海上に於けるレーマンとレミユエルによつて始められた争いは彼等を病氣にしてしまつた程のだけきでした。ニーファイはそれを記して「私の両親は年をとり彼等の小供たちの事で悲しみ苦しんだため病床に就いてしまいました。

兄たちの惡さのため大變な悲しみの結果彼等は殆ど昇天するばかりとなり彼等の白髪は嵐に歸そうとしました。ほんとに彼等はいさう少して大いなる悲しみを懷いて水の墓に入つてしまふところでした」と云つております。

けれどもニーファイが解かれた時、彼等は皆安全に岸に着き、彼等はそせいしてその後暫らくの間生きながらえしました。

才十四章 アメリカに於ける新家庭



ニーファイ第二書第一章、第四章船がアメリカに着くと旅人たちは海岸に沿つて進んで行きました。彼等はたずさえて來た彼等の天幕を張り附近を探検し始めました。彼等は其処に住みよい家庭を建設するのに必要な物の殆どを発見しました。

彼等が森の中に行つた時そこに牛や馬や山羊など多くの種類の獸を發見しました。彼等は又金、銀その他多くの種類の鉱石をも發見致しました。

彼等は材木をきつて家を建てました。彼等は島を耕しエルサレムからたずさえて來た種子を植えました。主なる神さまは彼等を祝福し繁榮させました。彼等の穀物は豊かになり彼等は美地へと拡がって行きました。

或日主なる神さまはリーハイに示現を与えその中で主なる神さまは彼等が逃げ去って来たエルサレムが今やユダヤ人の敵によって攻め滅ぼされリーハイの予言した通りその民は捕虜となつて去らされた事を示しました。リーハイは彼の家族に主なる神さまが彼に示された事を語り彼等は皆、バビロニア人の捕虜とならず約束の地に在った事を感じました。

誰でもお互にお互の奴隷となる事は主なる神さまのみ心ではありませんでした。主なる神さまはアメリカをエルサレムの人々からかくまいました。そこは自由の地であり避難者の場所でありました。主なる神さまはリーハイに主なる神さまがアメリカに連れて来る人々は神様を礼拝している限り自由を持つてあろうが、若し彼等が悪くなれば他の民の捕虜となるか打滅されてしまうであろうとお告げになりました。

リーハイは自由は主なる神さまが我々誰でもが惡より善を選ぶことが出来るよう我々すべてに与えられた福音の原則の一つであると説明しました。彼は我々は皆惡ぶ權利を持つてゐるが義に対しては

常に喜びが伴い惡を犯した時には悲しみが伴うであろうと教えました。彼は、「人は喜び得るために在り」我々が皆喜びを持つことは主なる神さまの望まれるところであると教えました。只神さまに仕える者だけがほんとに幸福であります。罪の中には喜びはないとリーハイは民に教えました。

リーハイはアメリカの事に言及して末の日に大いなる民が此の地に起りそしてそこは自由の天地となるであろうと言いました。他の予言者も同様に言いニーフアイはそれを示現に見ました。

イエスは曾てニーフアイに、末の日に我等大いなる民を起してそこを自由の天地とすることは天父の英智であると語りました。それはモルモン經典によりアメリカ人が主なる神さまに従順である限り主なる神さまが大いに祝福すると云うことを見てもわかるのであります。

第十五章

リーハイとジョセフ スミス

ニーフアイ第二書第三章

第二十七章、第三十章

家族の旅行中リーハイに何人かの子供が生れその一人にヨセフと

云う少年が居ました。リーハイはその生涯の終りが近づいた時、彼の息子達を呼んで彼等の将来の生活に就て注告を与えました。

ヨセフは彼及び全家族はエジプトに売られたヨセフの子孫であることを告げられました。リーハイは彼の息子に主なる神さまはエジプトのヨセフに大いなる約束をなしたと告げました。

リーハイは、エジプトのヨセフは次のように教えたと言いました。即ち「主なる神さまは此のように私に言いました。私はお前の子孫から優秀な先見者を起し彼が汝の子孫及びその兄弟たちのために働くことが出来るよう私は彼に誠命を与えるであろう。その誠命は彼等にとつて大いなる価値を有し彼等を導いて私がお前の父親となした誓約を知るに至らしめるであろう」と。

彼の息子たちにこの事を告げながらリーハイは彼等の子孫は記録を書かねばならぬ、そしてその記録は末日に偉大なる先見者によつて世にもたらされるであろうと云い又、それはユダヤ人の書いた聖書と共に用いらる多くの人を真の

福音にめざめさせるであろうと云いました。

リーハイは彼の息子に、末日の偉大なる予言者はジョセフと名づけられ彼の父親も又同様にジョセフと呼ばれるであろうと告げました。

リーハイが語つた予言者は、末日聖徒イエス・キリスト教会の創始者、ジョセフ スミスの事であります。彼の父親はジョセフ スミス シニヤで教会最初の祝福師でありました。

リーハイは、ニーフアイ人は、エジプトのヨセフの子孫であると説明しました。ニーフアイが記録している記録は既にその昔、ヨセフによつて、彼の民は書物を書くであろうと言われたところのものであります。その記録はモルモン經典であります。

ニーフアイは其の後この書物が末日に出て来るであろうことを予言致しました。彼はそれは偉大なる先見者の手に与えられ神の力によつて訳されるであろうと言いました。

ニーフアイは同様に末日に三人の他の者がその版を見るために召され彼等は「三人の見証者」と呼

ばれ書物の真実なることをあかしするであらうと言いました。

ジョセフ スミスがその版を訳している時主なる神さまは彼に三人の証人を遣ふようにお告げになり彼はその通り致しました。彼等の名前は「マーテン ハリス」「デーヴィッド ホイツトマル」「オリヴァー カウドリー」であります。彼等は金版を見せられ又それをジョセフ スミスに与えた天使をも見ました。

エーファイは、末日にモルモン経典は、新しい聖典として世に与えられるであらうと言いました。彼はそれが末日に出版された時、単に白人にばかりでなくリーハイの子孫であるインデアン人にも読まれるであらうと云いました。

彼はインデアン人はその書物の言葉を信ずるようになり彼等が信じて後は、彼等の心の暗は次第に消え去り多くの時代を経ない内にただ白く楽しい民となるであらうと云いました。

リーハイは年をとつてその余生がもうあまり長くない事を知りました。或日彼は、家族全部を呼んで彼等を祝福し又イシメルの家族をも祝福しました。その後間もな

くしてリーハイは病氣となつて死にました。

深い悲しみの内に家族たちは葬式の準備をし彼を新しい郷土に埋葬致しました。リーハイはその死の前は幸福でありました。何故な

表紙の説明

才八代大管長 ジョージ アルバート スミス

れば主なる神さまは彼等全部をエルサレムの危機より救出して下さい。彼等を安全に他の如何なる地よりもよいアメリカに伴つて下さつたからであります。

ヒーパー ジェーグラント大管長が死亡した時、十二使徒会長のジョージ アルバート スミス長老は、イリノイ州シカゴ市に於けるステーク部大会に出席した後、ニューヨークに向う途上にありました。ソルトレーク市に戻るよう電報が送られ彼は急いで戻りました。

一九四五年五月二十一日、月曜

日十二使徒と教会の大祝福師は集つて断食証詞を述べました。ジョージ エフ リチャード長老がジョージ アルバート スミス会長の末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長に支持するよう提議しました。十二使徒会はその提議を支持し、スミス会長は教会の第八代目の大管長になりました。ジョージ アルバート スミス

大管長は親切で情け深いと言う定評があります。彼はすぐ友達になれます。かれはその友をあいしその友を返する事に於て第二の大きな誠命の模範を示していると真実に言うことが出来ます。会員で彼の友人も全国に亘つて散在しています。

彼は全生涯を通じて合衆国の大統領達や州知事達や国民の内でも有名な人達に尊敬されました。彼が若し敵を持っていたとしたらそれはほんの僅かで彼等の敵意は不義に立脚しているのであります。

彼は特に市民の事に就て積極的で国の基礎を築いた人々を崇める石碑の建設保存に力を尽くしました。

彼の生涯は大いなる活動に布たされ豊富な経験を積んで大管長に

召され、その信頼に忠実であり、すべての点に於て大いなる尊敬を受けるに足り、人々に愛されたのであります。

我々の神設の中で、最も美しい一つであるアイダホ、フォールズ神設は一九四五年九月二十三日の日曜日にジョージ アルバート スミス大管長によって献堂されました。

ジョージ アルバート スミス大管長はその友を愛した人でありました。彼は特に親切で他人の氣持を思いやり貧しく不幸な人の事を考えました。

彼は会員でない多くの人達から愛され彼の知己は合衆国のすみずみに迄ひろがり多くの外国の地に迄及びました。

晩年に於て彼の健康は衰え、彼の八十一才の誕生日一九五一年四月四日に彼はユタ州ソルトレーク市の彼の家に於て安らかに逝去したのであります。

ジョージ アルバート スミス大管長の略歴

一八七〇年四月四日 ユタ州ソルトレーク市に生れる。ジョン・ヘンリーとサラの息子、一八七八年六月六日 クリーク

市に於てジエームス モイルに
よりバブテスマを受く存
一八七八年〜一八八二年 ソル
トレーク市の小学校に通学する
一八八二年〜一八八三年 プリ
ガム ヤング アカデミー（高
等学校に相当する）の学生、
一八八三年〜一八八七年 グラ
ンド オデル会社とシオン共同
商会、衣服工場に勤らく
一八八七年〜一八八八年 ユタ
大学の学生
一八八八年〜一八九一年 シオ
ン共同商会の販売人
一八九一年七月〜十一月 YM
M I A の尊に就て南ユタに遣わ
される
一八九二年五月二十五日 ルシ
ー エミリ ウードラフと結婚
する
一八九二年〜一八九四年 南部
合衆国に伝道する。
一八九四年〜一八九八年 シオ
ン共同商会に勤く。
一八九八年一月五日 合衆国土
地事務所ユタ州出納官に任命さ
れる。二期勤める。
一九〇三年十月六日 十二使徒
会員に支持さる。
一九一六年 国際灌概委員会長

一九一七年 国際乾農地委員会
長に選ばれる
一九一八年 国際農地委員長
に選ばれる
一九一九年一月二十七日 ヨー
ロッパ伝道部を管理するように
召される
一九二一年 ソルトレーク市に
帰る
一九二一年 教会の Y M M I A
会長に聖任さる
一九二二年 独立戦争参加者子
孫協会副会長に選ばれる
一九三〇年 ユタ開拓者陸標協
会長に選ばれる
一九三一年 アメリカ ボーイ
スカウト全国幹事会員に選ばれる
一九三二年 アメリカ ボーイ
スカウト ソルトレーク評議会
より悔罪銀賞を受く
一九三四年 アメリカ ボーイ
スカウト全国評議会より水牛銀
賞を受く
一九三八年 南太平洋の教会の
伝道部に長途の旅をする
一九四三年 十二使徒会長に聖
任さる
一九四五年五月二十一日 教会
の大家長に支持される
一九五一年四月四日 ユタ州ソ

ルトレーク市に於て逝去す。

おそらく.....

先生は私に本以上のものを教えてくれた。

先生は笑みをもつて教えをといたので、

私は耳を傾けたのだらう。

先生の誠実さは私に先生の語された言葉が

神から出たものと信じさせた。

先生の謙遜さが私の心を目覚めさせ

心の眼を見えるようにしてくれたのだ。

おそらく.....

私が感じたのは人類を愛する

先生のやさしい手ざわりであつたらう。

先生の言葉が私の心に迄達したのは、

真理の力にちがいない。

先生の仕事に対する熱意が

私にその本分をつくすよう力づけてくれた。

この先生のクラスの記憶が

永い年月のたつた今も尚

なぜ私の心に、まざまざとよみがえるのか

私にはよくは解らない。

おそらく.....

私の小さかつた証が、

私の心の中に大きく成長し、

私の生命 私のすべてとなつたのは、

この先生のお蔭であると私は知っている。

作者不詳

福音書の日本語版

教義と聖約・高価なる真珠・モルモン経合本	1 . 1 0 0 円
教義と聖約・高価なる真珠	3 0 0 円
モルモン経 (新約)	3 0 0 円
新旧約聖書 (口語体・文語体)	2 7 0 円

日曜学校用

福音の実践	1 5 0 円
古代アメリカの生活	1 0 0 円
万人のよきおとづれ	1 0 0 円
古代の使徒	1 0 0 円
聖典中の指導者達	1 5 0 円
新求道者のための福音の根本原則	2 5 円
初等協会用教課書	1 5 0 円

M . I . A .

完成への道	2 0 0 円
信証講義	2 0 0 円
演劇脚本集	5 0 円
役員と指導者の手引	1 0 0 円
ゲームとその遊び方	5 0 円

讃美歌

末日聖徒讃美歌	3 0 0 円
末日聖徒讃美歌抜萃	5 0 円
子等は歌う	1 0 0 円

—— 御注文は各支部長へ ——

(価格一部変更しましたから注意して下さい)

編集言

- ◎「聖徒の道」の編集方針を変更して教会の機会の機関誌たるの内容を充実し、皆さんの心の糧にふさわしいものにするため、三月号から面目を一新した
- ◎従って「聖徒の道」は少なくとも会員の一一人が必ず一冊を購入する熱意を持つよう協力する義務がある。そればかりでなく進んで購読者をふやすよう努力して頂きたい。
- ◎私たちの機関誌たる地位を確立するため読者欄を設け、また和歌や俳句を募集してお互の思を豊かならしめることにしたから、せっかく投稿されるよう希望します。
- ◎切日が毎月月末日に変更された。毎月月末までに到着するよう原稿を送って頂きたい。三月号は多少くもらいますが、四月号から此の規定を守

一九五八年二月一日発行
第二巻第二号 (定価三十円)

発行人 ポール・C・アンドラス

編集人 高木 富五郎

発行所 東京都港区麻布下尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

末日聖徒イエス・キリスト教会信仰箇条

(1956年8月校訂、承認)

一九五八年二月一日発行
第二卷第二号
編行人
高木富五郎
発行所
北東部
極東・キリスト教会
東京都港区麻布広尾町一四

- 第 1 条 われらは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと聖霊とを信ず。
- 第 2 条 われらは、人は皆各々其身にてなしたる罪に対して罰を受け、アダムの咎に対して罰を受けざることを信ず。
- 第 3 条 われらは、キリストの贖罪により、すべての人類は、福音のおきてと儀式とを守ることによりて救われ得ると信ず。
- 第 4 条 われらは、福音の第一原則と儀式とは
第1、主イエス・キリストを信ずる信仰
第2、悔改め
第3、罪の赦しを受くるために水に沈めらるるバプテスマ
第4、聖霊の賜を授かるための按手礼
なることを信ず。
- 第 5 条 われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには、啓示と、權威ある者の按手により、神によりて其任に召されねばならぬことを信ず。
- 第 6 条 われらは、教会には、初期の教会に在りたると同一の組織、すなわち使徒、予言者、監督、教師、祝福師等のあるべきことを信ず。
- 第 7 条 われらは、異言を語る力、予言する力、啓示、示現を受くる力、病を医す力、異言を積く力等の賜あることを信ず。
- 第 8 条 われらは、正確に翻譯されたる限り、聖書は神の御言葉なりと信ず。またモルモン經 (英文) も神の御言葉なりと信ず。
- 第 9 条 われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしこと、すべて今啓示したもうことを信じ、なお今より後、神の王国について多くの偉大にして重要なことを啓示したもうことを信ず。
- 第 10 条 われらは、イスラエル人は、文字通りに四方より集合し、その十支族の元に立ちかえることを信ず。われらは、シオンはこの (アメリカ) 大陸に建てられ、キリストは御自ら地上に王となりて、治めたまい、地球は元にあらたまりて樂園の栄えを受くることを信ず。
- 第 11 条 われらは、自らの良心に従い、全能なる神を礼拝する特権ありと主張す。また、われらは、すべての人々にこの特権を許し、何所なりとも、如何様なりとも、または何なりともこれを礼拝することを妨げず。
- 第 12 条 われらは、王、大統領、統治者、長官に従うべきを信じ、また法律を敬い、守り、支うべきを信ず。
- 第 13 条 われらは、正直、真実、貞潔、慈善、高德なるべきこと、およびすべての人に善を行うべきを信ず。まことにパウロの訓戒に従うというを得べく、われらはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。すでに多くのことを堪え忍びたれば、あらゆることを堪え忍び得んことを望む。もし何にても、徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは褒むべきことあらば、われらはこれらをたずねもとむるものなり。

ジョセフ・スミス